



# 第2次寒川 学びプラン

## 令和3年度事業報告（案）

ともに学び・ともに支えあう  
自己実現と協働のまち・さむかわ



# 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度事業報告

## 事業実施状況の概要

[評価目的] 「第2次寒川 学びプラン」に掲げた65事業の進捗状況を把握し、その評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性を確保し、「第2次寒川 学びプラン」の基本理念である「ともに学び・ともに支え合う自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

[評価項目] 令和3年度事業の実施状況の評価

[評価方法] 事業実施課が令和3年度事業の評価を目標数値に対する実績値の割合により、次の区分で評価する。

【令和3年度の評価】

- A： 目標数値に対して90%以上
- B： 目標数値に対して70%以上90%未満
- C： 目標数値に対して70%未満
- D： 事業を実施できなかった

[評価の結果]

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	A	B	C	D
1 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	1 自主的・自発的な学習の 支援	1～3	3	3 事業 100.0 %	事業 0.0 %	事業 0.0 %	事業 0.0 %
	2 ライフステージに応じた 学習機会の充実	4～18	15	2 事業 13.3 %	5 事業 33.3 %	7 事業 46.7 %	1 事業 6.7 %
	3 学習ニーズ・現代的課題 への対応	19～29	11	6 事業 54.5 %	1 事業 9.1 %	3 事業 27.3 %	1 事業 9.1 %
	4 学習環境の充実	30～44	15	6 事業 40.0 %	1 事業 6.7 %	7 事業 46.7 %	1 事業 6.7 %
2 「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習	1 学習成果を発表する機 会の充実	45～46	2	1 事業 50.0 %	事業 0.0 %	事業 0.0 %	1 事業 50.0 %
	2 学習成果を地域で活か す機会の充実	47～52	6	事業 0.0 %	3 事業 50.0 %	事業 0.0 %	3 事業 50.0 %
3 「つながる」 学びでつながる生涯学習	1 まちづくりにつながる学 習機会の充実	53～55	3	1 事業 33.3 %	事業 0.0 %	2 事業 66.7 %	事業 0.0 %
	2 まちづくりにつながる活 動の支援	56～65	10	6 事業 60.0 %	1 事業 10.0 %	3 事業 30.0 %	事業 0.0 %
合 計			65	25 事業 38.5 %	11 事業 16.9 %	22 事業 33.8 %	7 事業 10.8 %

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向1】自主的・自発的な学習の支援

【施策1】学習情報の提供・学習相談機能の充実

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値						
					R3	R4	R5	R6			
1	生涯学習関連事業の 情報提供	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を計画どおり年2回（上半期、下半期）発行し、町や関係機関が主催する講座やイベントスケジュールの情報提供を行った。	各課等で行われる年間の講座、教室等の総事業数(件)	190	190	190	190	A	町の生涯学習関連事業をとりまとめた情報誌を定期的に発行することで、学習意欲の喚起や学習機会の提供を行うことができた。総事業数はR2年度よりも大幅に増加し、コロナ禍前の水準に戻りつつある。	学び推進課
	183										
2	広報活動事業	これまで展開してきた情報発信手段に加え、役場庁舎に導入しているデジタルサイネージを活用した学習支援情報を発信し、町民の皆さまの情報取得機会を拡大するとともに、様々な自主的・自発的な学習支援を行う。	町の施策や事業などの情報を、次の媒体を活用して提供した。 【活用媒体】 ①広報紙 ②町ホームページ ③便利ガイド ④メール配信サービス ⑤広報板 ⑥Twitter ⑦Facebook ⑧Instagram ⑨LINE@ ⑩マチイロ（i広報紙） ⑪マイ広報紙 ⑫新聞・タウン紙 ⑬J:COM ⑭YouTube ⑮コミュニティ放送（レディオ湘南・さむらじ） ⑯マチマチ ⑰デジタルサイネージ ⑱正面玄関モニター	情報提供を行う媒体数(件)	17	17	17	17	A	これまで展開してきた情報発信媒体に加え、新たに2021年度（令和3年度）より、正面玄関に大型モニターを設置し、情報発信力の強化を図ることができた。また、近年ベトナムの方が急増している状況を踏まえ、町ホームページの多言語対応をすることで、情報取得機会の強化を図ることができた。学習支援情報の発信媒体は増加したものの、令和3年度はコロナ禍により、講座等の中止が多く、各媒体での講座情報等の発信機会が少なかったため、感染症等の社会環境にはよるものの、次年度以降については精力的に情報発信を行ってきたい。	広報戦略課
	18										

3	生涯学習情報紙の発行及び相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の子ども向けの講座やイベント等を掲載する情報紙「すきっぷ」を年4回発行する。</li> <li>・町が実施する生涯学習事業を紹介する「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すきっぷ」を計画どおり年4回発行し、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う全児童に配布した。</li> <li>・町が行う生涯学習事業を集約した「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行し、情報提供を行った。</li> </ul>	生涯学習情報紙の年間発行回数(回)	5	5	5	5	A	定期的に「すきっぷ」を発行することにより、子どものための生涯学習情報媒体として定着し、確実に講座等への参加につながっている。	学び推進課
	町民に生涯学習に関する情報提供を行うため、生涯学習に関する情報紙を発行するとともに情報の収集・発信や各種相談への対応を行います。			5							

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策1】乳幼児期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課	
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値							
					R3	R4	R5	R6				
4	乳幼児を対象とした公民館事業  ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、乳幼児を対象とした講座・教室等を開催します。	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操、こども映画会 【北部公民館】おはなし図書館、夏休みおはなし図書館 【南部公民館】親子ミニリトミック教室、親子リトミック教室、幼児クラフト教室、おはなし広場	【町民センター】2事業9回・延べ76人参加 ママとベビーのふれあい体操、こども映画会 【北部公民館】1事業5回・延べ39人参加 おはなし図書館 【南部公民館】4事業14回・延べ56人参加 親子でクラフト教室、おはなし広場、親子でリトミック体験、親子でミニリトミック体験	講座・教室等の開催回数(回)	38	38	40	40	28	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とすることが難しくなっている。また、緊急事態宣言、まん延防止重点措置の期間中は公民館講座を中止・延期した。(3事業4回中止)	教育政策課

5	子育て支援センター事業	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施 実施日：月～金曜日 10:00～16:00（土・日・祭日・年末年始及び月1回月曜日の午後を除く）	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業を行った。  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間・人数を制限して開所した。	子育て支援センターの利用者数(人)	9,490	9,540	9,610	9,670	C	育児や子育てに関する情報提供と相談対応など子育て支援体制の充実を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者数を制限しての開所をしたが、育児不安を抱える保護者に対し手紙や電話により状況の把握に努めた。	子育て支援課
	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施や、利用者のきっかけづくりとなるイベント等を開催します。			3,722							
6	母子健康教育事業	①父親・母親教室：1コース4日年5コース 20回 ②父親母親教室OB会：1コース2日年5コース 10回 ③離乳食講習会：前期12回 後期6回 18回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はやわかり講座 1回 ⑦育児相談 24回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計133回	①父親・母親教室：1コース4日年5コース 20回 ②父親母親教室OB会：1コース1日年5コース 5回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援センターでの開催を見合わせた) ③離乳食講習会：前期12回 後期8回(申し込みが定員超えた4月と10月で午前午後の1日2回開催) 計20回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 9回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月3月の開催を見合わせた) ⑥育児の今・昔はやわかり講座 1回 ⑦育児相談 24回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計127回	講座・教室等の開催回数(回)	133	133	133	133	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、各種講座・健康診査を通して、必要な情報を提供し、相談先を周知することができた。また、一部開催を中止した事業はあったが、相談等は必要に応じ対応することができた。	子育て支援課
	初妊婦とそのパートナーを対象に、出産や育児についての知識と技術を伝えるとともに、他の妊婦等と知り合うことや相談先を知るきっかけづくりとして父親・母親教室等を実施します。			127							

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策2】青少年期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課	
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値							
					下段：実績値							
R3	R4	R5	R6									
7	<p>豊かな心・文化育成事業</p> <p>児童生徒の実態を生かした知育・徳育の観点から、児童生徒が将来の進路や優れた芸術文化・スポーツに触れる機会を創出することで、豊かな心を育成するとともに、文化芸術に対する興味関心及び意識の向上を図るため、進路指導や部活動、芸術体験事業の充実のための支援を行います。</p>	<p>・小学校5校において芸術鑑賞事業のための一部補助</p> <p>・中学校3校において部活動の推進の補助及び進路指導に係る諸経費の補助</p>	<p>・芸術鑑賞においては、町立小学校の全てにおいて実施することができなかった。</p> <p>・中学校3校に部活動の推進として大会参加費及び吹奏楽部への補助を行った。</p> <p>・中学校3校に進路指導に係る諸経費の補助を行った。</p>	<p>進路指導、部活動及び芸術鑑賞の取組学校数(校)</p>	14	14	14	14	9	B	<p>・芸術鑑賞においては、体育館を使って開催する関係上、一度に大勢の児童が集まるので、新型コロナウイルス感染症が収束していない中で、来年度以降も開催は難しいと思われる。</p> <p>・中学校3校への部活動の推進に向けた補助をしたことにより、子どもたちの部活動が充実した活動とすることができた。</p> <p>・中学校3校において、進路指導に係る諸経費の補助を行うことにより、各校において効率的且つ丁寧な進路指導を行うことができた。</p>	学校教育課
8	<p>「地域のせんせい」ふれあい推進事業</p> <p>体験的な教育活動と個に応じた指導などの充実を図るため、地域協力者の活用を推進します。</p>	<p>地域の人材を活用して、町内小・中学校における授業の補助、体験的学習等を行う。 (各校の実態による)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学校の中に多数の地域の人材を取り入れる活動が難しく、感染症対策を行った上で、活動ができそうな範囲内で少人数の地域の人材を活用した。</p>	<p>体験的教育活動と指導の項目数(件)</p>	45	45	45	45	40	B	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学校の中に地域の人材を取り入れる活動が難しかったが、その中でも各学校の工夫などにより、地域の人材を活用することができ、有意義な時間を過ごすことができていた。</p> <p>課題としては、子どもの命が第一に優先されるため、今後も新型コロナウイルス感染症の状況により、地域の人材を活用することが難しい場合がある。</p>	学校教育課

9	さむかわゆうゆう学園の実施	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行する。対象事業に1回参加することにより、スタンプカードにスタンプを1個押し、10個スタンプを集めた申請者に修了証と記念品を贈呈する。	・「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を計画どおり年2回発行した。 ・子どものための生涯学習情報紙「すきっぷ」にゆうゆう学園対象講座を掲載し、スタンプを10個集めた申請者に対して修了証及び記念品を交付した。	修了証交付人数(人)	35	35	35	35	C	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」や「すきっぷ」の発行を通して、子どもを対象とした講座や教室を周知することにより、子どもたちの参加につなげることができたが、ゆうゆう学園修了証申請者は伸び悩んでいる。今後は子どもが参加するイベントでのPRなど、周知方法を工夫し、より多くの人にゆうゆう学園に参加してもらうきっかけをつくり、修了証申請者の増加につなげていきたい。	学び推進課
	青少年に地域での学習機会を提供し、学びに目を向ける動機づけとなるよう、町の機関等が実施する事業をとりまとめた参加を奨励します。				18						
10	子どもの読書活動推進に関する事業	新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、未就学児と保護者を対象とした「おはなし会」を毎月2回開催します。また、0歳児から2歳児と保護者を対象とした「おひざにだっこのおはなし会」を開催します。他に、夏と冬に幼児及び小学校に分けてスペシャルお話しやぬいぐるみお泊り会での読み聞かせを開催する予定です。	・おひざにだっこのおはなし会(毎月第4水曜日)8回・延べ75人 ・土曜日おはなし会(毎月第1・3土曜日)13回・延べ75人 ・出張わらべうた:6/24参加者14人、10/28参加者16人 ・真夏の夜のおはなし会:7/31・参加者25人 ・青空おはなし会:11/13参加者9人 ・ぬいぐるみおとまり会:12/3~4参加者11人 ・クリスマス・スペシャルおはなし会:12/25参加者13人	子ども読書活動に関する事業の提供回数(回)	95	95	100	100	C	子どもと本をつなぐきっかけづくりなどのため「おはなし会」を開催しており、参加者も多く定着が図られている。 おはなし会は、子ども達が絵本前に集まり「3密」になりやすいことから、定員を設け、事前申込制で実施をした。おはなしボランティアによる活動を令和3年12月まで中止していたこともあり、当初計画より実施回数が減少していることと、8~9月の緊急事態宣言期間、1~3月のまん延防止重点措置期間は実施を中止した。令和4年度はおはなしボランティアによるおはなし会を再開する。	教育政策課
	地域における子どもの読書活動を推進する上で、図書館は重要な役割であり、そのための人づくり、環境づくり、情報提供等の事業を実施します。				27						
11	青少年を対象とした公民館事業	【町民センター】子どもパステルアート 外10事業 【北部公民館】子どもフラワーアレンジメント教室 外11事業 【南部公民館】樹脂粘土あそび 外9事業	【町民センター】13事業15回・延べ422人 子どもパステルアート 外12事業 【北部公民館】11事業12回・延べ297人 子どもフラワーアレンジメント 外10事業 【南部公民館】11事業14回・延べ179人 子ども樹脂粘土教室 外10事業 【共通】ジュニア絵画展 応募作品数1608点	講座・教室等の開催回数(回)	97	97	102	102	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とするイベントなどが難しくなっている。また、緊急事態宣言、まん延防止重点措置の期間中は公民館講座を中止・延期した。青少年事業が多い8月が全て中止となった影響が大きい。 (12事業23回中止)	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、青少年を対象とした講座・教室等を開催します。				41						



12	青少年育成事業	7月に青少年問題協議会（書面会議）、9月に創意くふう展、1月に令和4年成人式を開催予定。青少年指導員定例会及びジュニア・リーダーズクラブ定例会は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら必要に応じて開催する。子ども会や公民館等の事業への青少年指導員の派遣は、依頼の状況に応じて行う。子どもまつり、小学生体験学習事業(焼いもとポン菓子体験、キャンプ)については、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。	青少指定例会2回、青少年問題協議会(書面会議1回)、成人式(1回)	町が行う青少年健全育成事業開催数(回)	35	35	35	35	C	青少年問題協議会は書面会議で行い、関係団体同士で情報交換を行うことができた。  成人式はコロナ禍での開催となったが、例年と同程度の参加率で、多くの新成人に対し、社会人としての門出を祝福することができた。	学び推進課
	青少年の健全育成に向け、幅広い年齢層が参加できる事業の実施や指導員、リーダーの育成を図り、青少年活動を支援します。				4						
13	ふれあい塾運営事業	ふれあい塾は新型コロナウイルス感染防止のため休止中で、再開時期については、感染症の状況を見ながら、ふれあい塾指導員及びボランティアと協議し、検討する。	未実施	参加人数(人)	7,450	7,450	7,450	7,450	D	新型コロナウイルス感染防止のため、事業を実施しなかった。	学び推進課
	放課後の体育館を活用し、地域や児童クラブとの連携をとりながら、安心して遊べる場の提供、環境整備を行います。				0						



【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策3】成人期における学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
14	成人を対象とした公民館事業	【町民センター】自分史づくり講座 外20事業 【北部公民館】ニューズペーパーバックを作ろう講座 外7事業 【南部公民館】腸もみダイエット講座 外10事業	【町民センター】28事業36回・延べ1231人 自分史づくり講座 外27事業 【北部公民館】15事業18回・延べ425人 ニューズペーパーバックを作ろう講座 外14事業 【南部公民館】18事業23回・延べ350人 腸もみダイエット講座 外17事業	講座・教室等の開催回数(回)	115	115	115	115	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とするイベントなどが難しくなっている。コロナ禍において、生涯学習に対するモチベーションが高くなっていることから、参加者募集に対して定員に達する状況や、参加者アンケート結果から、学習意欲は高い。緊急事態宣言、まん延防止重点措置の期間中は公民館講座を中止・延期したのもあるが、成人事業は安全対策を取り、なるべく実施した。参加人数の減少については、公民館まつりやホール事業などを中止している影響が大きい。(6事業11回中止)	教育政策課
	77										
15	労働講座等の開催	・寒川町商工会と共催で創業支援セミナーを開催。 ・県や関係機関と協力し、就労支援のための講座を開催。 ・労政問題懇話会と町が共催で、労働講座を9～10月頃に実施予定。	○創業支援セミナー 開催日：6～7月 会場：寒川町商工会 参加人数：14名 ○湘南合同就職面接会 開催日：令和4年1月21日 会場：藤沢商工会館 ミナパーク 参加人数：77名(10代・20代：14名) ○労働講座 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止	講座・教室等の開催回数(回)	3	3	4	4	C	労政問題懇話会との共催による労働講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となった。今後、実施方法等について検討する必要がある。 湘南合同就職面接会では、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・ハローワーク藤沢・神奈川県等と共催で感染症対策を行ったうえで実施し、若者の就労機会に繋がる事業を行った。 また、商工会との共催で町内での新規創業者・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催する事ができた。	産業振興課
	2										

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策4】高齢期における学習機会の提供

NO	事業名		3年度事業報告						担当課		
	事業内容	3年度実行計画	3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値					R3 評価	事業の成果・課題等
					下段：実績値						
				R3	R4	R5	R6				
16	高齢者を対象とした公民館事業	【町民センター】高齢者のための生き方講座 【北部公民館】大人の超初心者パソコン教室、シニアクラス、敬老室開放事業 【南部公民館】敬老室開放事業、機能回復室開放事業	【町民センター】1事業1回19人参加 講演「健康長寿で悔いのない人生を！」 【北部公民館】講座4事業12回・延べ81人参加、開放事業1事業大人のパソコン超初心者教室、シニアクラス「ニュースポーツ」「クラフト教室」「防災講座」、敬老室(囲碁・将棋)開放事業 【南部公民館】開放事業2事業敬老室(囲碁)開放事業、機能回復室(将棋)開放事業	講座・教室等の開催回数(回)	10	10	15	15	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とするイベントなどが難しくなっており、一部事業は中止したが、目標数値は達成した。コロナ禍において、生涯学習に対するモチベーションが高くなっていることから、参加者アンケート結果からも学習意欲の高さを感じられる。(2事業4回中止)	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、高齢者を対象とした講座・教室等を開催します。				13						
17	高齢者生きがいづくり等支援事業	令和3年度寒川町シニアクラブ連合会運営費補助金の交付。	シニアクラブ活動等事業・シニアクラブ連合会職員の人件費補助 シニアクラブ連合会 シニアクラブ数：14クラブ 会員数：606人(3月末日時点)	シニアクラブ加入者数(人)	695	700	705	710	B	シニアクラブへの支援を通じ、町内の高齢者の生きがいや健康づくりを推進することができた。 しかし、令和3年度もコロナウィルスが流行したことにより、事業が予定通りに開催できない状況であった。 結果として、会員も減少してしまったため、加入者を増やすためのPRを行う必要がある。	高齢介護課
	地域での生きがいづくり、健康づくり推進のため、シニアクラブの活動を支援します。				606						

18	介護に関する講座等の開催 (介護予防事業)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために配慮をしながら、介護予防事業を開催します。	令和2年度に実施した介護予防運動を自宅で受けることができる事業を正式に開始し、予定数を上回る応募があった。その他の介護予防事業も緊急事態宣言による中止もあったが、町民の参加意欲が高く、盛況であった。	講座・教室等の開催回数 (回)	173	179	186	192	B	令和2年度と同様、参加者数の制限や緊急事態宣言等により事業の一時中断や在宅への振替を行ったが、町民の参加意欲は高く、運動の機会を多くの高齢者が求めている。 一方、参加者の固定がさらに進んでおり運動に対する意欲の少ない高齢者に対してのアプローチを考案する必要がある。また、電子機器やICT技術についての講習等も事業に組み込んでいく必要がある。	高齢介護課
	高齢者の社会参加、介護予防に関する学習機会を提供します。	元気はっけん教室（集合版） 4クール（1クール12回を午前午後の2回開催） 元気はっけん教室（在宅版） 1クール（12回） 高齢者健康トレーニング教室 3クール（1クール8回） 介護予防講師派遣（随時）	1年間運動の機会が無かった高齢者にとって外出の機会や友人との交流の場になっており、再開を喜ぶ意見がアンケート等で見られた。	150							

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策1】スポーツ・健康について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課	
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値							
					R3	R4	R5	R6				
19	スポーツ活動応援事業 スポーツ活動の推進を図るため、町民に各種スポーツに関する教室・大会等の学習機会を提供します。	<b>①初心者弓道教室(5~6月)</b> <b>②③④テニス教室(春・夏・秋)</b> <b>⑤ヘルスライフアカデミー(毎月)</b> <b>⑥卓球教室(9月)</b> <b>⑦ソフトテニス教室(9月)</b> <b>⑧ さむかわスポーツデイ(10月)</b> <b>⑨レクリエーションフェスティバル(10月)</b> <b>⑩武道フェスティバル(11月)</b> <b>⑪観桜駅伝競走大会(4月)</b> <b>⑫チャレンジデー(5月)</b> <b>⑬かながわ駅伝(2月)</b>	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、実行計画に記載の予定どおり開催できなかった。教室については感染拡大防止対策を行いながら次のとおり開催を行った。  <b>①初心者弓道教室(全8回) 1回</b> <b>②春季テニス教室(全4回) 1回</b> <b>⑤ヘルスライフアカデミー9回(8月~10月は中止)</b>	講座・教室・大会等の開催回数(回)	13	15	17	19	3	C	新型コロナウイルスまん延により、事業の実施については、感染拡大防止対策を施した上で実施をしたが、感染者が急増した期間において特に多くの人が集まる大会等については事業を中止せざるを得ない状況となってしまった。	スポーツ課

20	健康運動ボランティアによる地域活動の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ワクチン接種が落ち着く9月から10月までの活動は控える。感染状況に合わせて実施する予定。	新型コロナウイルス感染症の感染状況が収まらず、健康運動ボランティアによる地域活動は実施できなかった。	健康運動ボランティアの地域活動の実施回数(回)	45	45	45	45	D	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。次年度以降、感染状況を鑑みつつ、感染対策を図ったうえで、健康づくり体操の日を再開するほか、自治会や高齢者施設より体操指導等の依頼があった際には、地域活動を実施していく。	健康づくり課
	健康運動ボランティアによる地域活動を行い、学習の機会を提供します。				0						

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策2】環境について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					R3	R4	R5	R6			
21	環境に関する講座等の開催 環境問題の認識を深めるため、環境教育・学習の場の提供を推進します。	川の生き物調査隊(7月31日)、寒川の河原で遊ぼう(10月)、環境バスツアー(11月)、住みよいまちづくり条例ポスター展(12月)、環境保全研修会、野鳥観察会(いずれも1月)、気候変動に関する講演会(開催時期未定) 計7回	第3次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、町と環境団体との連携のもと以下の学習講座等を実施し身近な環境体験の機会の増加と環境問題への意識向上を図った。  参加人数のべ ①寒川の河原で遊ぼう(10月) 41人 ②気候変動講演会(12月) 5人 ③条例ポスター展(12月) 238人 ④環境保全研修会(1月) 22人 ⑤気候変動対策PRパネル展(1月) 50人	講座・教室等の開催回数(回)	10	10	11	11	C	身近な環境学習へ関心意欲が高い住民の参加が多く、環境問題への意識醸成につながった。 新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮に入れた事業実施となったものの、開催方法の検討を行い、開催機会の確保に努めていく。	環境課

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策3】安全について知り・学ぶ機会の充実

22	防災に関する教室の開催	防災意識の高揚には、自助・共助の取り組みが不可欠であるため、各種団体、学校、保育園等において、継続的に防災に関する講座、教室等を実施していく。 ・自主防災組織における講話や研修会の実施 ・その他団体における防災講習の実施 ※新型コロナウイルス感染状況により、中止や実施方法の変更可能性あり	各種関係団体において、講習会や研修会を実施した。 10/10 福寿会(倉見) 22名参加  防災講演会の動画をYouTubeで公開 3月公開 視聴回数:236回	講座・教室等の開催回数(回)	11	11	11	11	C	今年度については、昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演等の実施を自粛し、備蓄倉庫の資機材の確認等の活動を行う団体が多かったため目標達成には至らなかったが、一部開催方法を動画配信に変更し実施した。今後も自助・共助の重要性から、継続的に実施していく必要がある。	町民安全課
	防災意識の高揚を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。	2									
23	交通安全教室の開催	交通事故の撲滅には粘り強く継続的に交通安全に対しての意識付けが必要なため、各小学校並びに高齢者を対象に交通安全教室を引き続き実施していく。 ・町内5小学校道路の歩行訓練(1年生)、自転車の乗り方(3年生) ・高齢者向けの交通安全講習 ※新型コロナウイルス感染状況により実施の可否をする。	令和3年度については、令和2年度に続き、コロナ禍により実地による交通安全教室(小学1年生歩行、3年生自転車乗り方)については中止した。 代替え措置として、町内各小学校5校へ交通安全に関するリーフレットを配布し啓発を行った。	講座・教室等の開催回数(回)	6	6	6	6	B	町内における令和3年度中の死亡事故については0件であった。 また、令和2年に指定されていた「自転車交通事故多発地域」についても、令和3年度は指定されていない。 今後についても、引き続き交通安全教室(小学1年生、3年生)や高齢向けの講習を実施していく必要がある。	町民安全課
	交通安全意識の高揚を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。	5									
24	消費生活に関する講座等の開催	町内自治会等へ向け、消費生活における最近のトラブル事例をお伝えします。	日時:令和3年10月5日(火)午前10時30分~12時30分 場所:県住寒川もくせいハイソ第2集会所 内容:初めてのスマホ教室 講師:携帯電話会社講師1名、及び、サポート2名	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	1	1	A	高齢者へ向けてスマートフォン講座を実施することにより、自らの理解を深め、今後の消費生活におけるトラブル予防を図ることができた。	町民窓口課
	町民が安心できる消費生活を送れるように、講座等の学習機会を提供します。	1									

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策4】生活課題について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度実施状況	目標指標 (単位)	3年度事業報告				R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
					上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
25	福祉に関する講座等の開催	第38回福祉大会、第12回寒川町ふれあい福祉フェスティバル、町内小中学校での福祉を育む学びの場づくり、地域における福祉体験の場づくり、社会福祉士養成のための相談援助実習の受け入れ、地域福祉フォーラム、権利擁護ネットワーク連絡会、成年後見講座、ボランティア講座、みんなの健康セミナー、認知症サポーター養成講座の開催等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第38回福祉大会（12月、表彰者のみで縮小開催、49名）</li> <li>・第12回寒川町ふれあい福祉フェスティバル（コロナ禍のため中止）</li> <li>・町内小中学校での福祉を育む学びの場づくり（全8校中6校で実施、2校は予定があったもののコロナ禍で中止。初めてのプログラムとして「ユニバーサルデザインダンス」を実施）</li> <li>・地域における福祉体験の場づくり（ボランティア学びあい講座、民生委員地区協議会、町シニアクラブ連合会及び単位クラブにて社協事業の説明）</li> <li>・社会福祉士養成のための相談援助実習の受け入れ（8月～9月、学生2名受け入れ、24日間180時間の実習プログラム）</li> <li>・地域福祉フォーラム（集合・対面での開催は無し）</li> <li>・権利擁護ネットワーク連絡会（意思決定支援をテーマに11月、3月にオンラインで2回開催し、のべ23名参加）</li> <li>成年後見講座（11月にオンラインで開催、参加者10名）</li> <li>・ボランティア講座（①8月にボランティア体験会を開催、来場者52人。小学生から高校生を対象、様々なボランティア活動を体験②10月～12月に全7回、ボランティア学びあい講座開催。様々なテーマで実施。集合とオンラインのハイブリッド開催。会場参加のべ94名、オンライン参加のべ29名）</li> <li>・みんなの健康セミナーについては実施せず</li> <li>・認知症サポーター養成講座（自治会、町内高齢者施設、民生委員、シニアクラブ連合会等で開催、ステップアップ講座も開催）の開催等。</li> </ul>	講座・教室等の開催回数 (回)	40	40	40	40	A	コロナ禍のため、集合開催、オンライン開催、ハイブリッド開催を活用しながら、各種の学びの場を多様な対象に開催した。開催回数も目標を超え実施できた。参加・受講した方のその後の活動や活動のための相談など、引き続き社協で対応していく。	福祉課（社会福祉協議会）
	地域福祉の活発化、理解を深めるための講座や学習機会を提供します。			41							



26	男女共同参画推進事業	(2市1町) 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 男女共同参画特別講演会及び神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業での講演会を実施する。	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。 ①2市1町男女共同参画特別講演会『女性のウェルビーイングって何だろう』 日時:令和4年3月1日(火)~3月13日(日)YouTubeによる動画配信 参加者104人(内訳:男性26人、女性73人、その他1名、無回答4名) 講師:永田 潤子氏(大阪市立大学教授、女性初の海上保安官) 内容:女性が活躍できる社会になれば、男性のワーク・ライフ・バランスを変えていくことができます。本当に暮らしやすい社会について、一緒に考えてみませんか?をテーマに講師自らの経験に基づき、ご講演いただいた。ウェルビーイングを通じて、人々が何かをあきらめず、誰もが幸せであり可能性を広げることができる社会を創造する大切さを参加者に伝えることができた。	講座・教室等の開催回数(回)	2	2	2	2	A	①②の出席者数の合計が、135人であったため。  男女共同参画白書(令和3年版)によると、コロナ禍においてはテレワークによって女性が働きやすくなる可能性があると言われている半面、1日の時間の使い方について、男性の仕事時間が減少した分、育児時間が増加し、男性の育児参加が進んだように見えている。しかしながら、女性の育児時間も同様に増加しており、家事時間について変化が無いことから、女性が男性の2倍以上、家事及び育児をしている傾向はコロナ前後で変わらないとの報告もある。共働き世帯が増加する中で、固定的性別役割分担の解消とワーク・ライフ・バランスの必要性が求められている。コロナ禍において感染防止対策のためにオンラインによる講演会を開催し、住民の意識醸成に努めることができた。	町民窓口課
	男女共同参画社会実現に向けた意識啓発を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。	②男女共同参画推進講演会 「社会が変わる、私も変わるー誰もが暮らしやすい時代を目指してー」 日時:令和4年1月22日(月)~2月21日(月)YouTubeによる動画配信 参加者:31名(男性11名、女性20名) 講師:栢島 洋美氏(横浜国立大学副学長) 内容:データや講師自らの経験をもとに「男だから」「女だから」という固定的な役割分担意識のアンコンシャスバイアスにとらわれない考え方をすることにより、自分自身、そして社会全体が変化していくことへの講演をいただいた。昭和から平成、令和と移り変わる中、女性・男性の役割分担がどのように変化していくか、データなどを用い参加者に伝えることができた。また、配信日初日はライブ配信により質疑が2件あり、録画配信にはない、講師が直接回答を行うことができた。	2								



27	平和推進事業	平和パネル展を実施し、平和思想の普及・浸透を図る。	日時:令和3年8月10日(火)～8月19日(木) 午前9時～午後7時(初日は午後1時～、最終日は午後4時までの展示) 場所:寒川総合図書館 企画展示室前 内容:平和パネル展「原水爆のない未来へ」をテーマとして東京都夢の島公園内にある、都立第五福竜丸展示館所蔵のパネルを展示。	平和推進事業の開催回数(回)	1	1	1	1	A	戦争・核兵器の悲惨さ、命の尊さと平和の大切さを伝え、平和思想の普及、啓発を図ることができた。ゆうゆう学園対象事業としていることから、内容については、幅広い世代に対応できるパネルを選定する必要がある。	町民窓口課
	平和思想の普及・浸透を図るため、展示・講演会等の学習機会の提供を図ります。			1							
28	家庭教育支援に関する事業の開催	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操 【南部公民館】親子ミニリトミック教室、親子リトミック教室、幼児クラフト教室 【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会	【町民センター】赤ちゃん和妈妈の防災講座:10月27日開催/24人 ママとベビーのふれあい体操:11月25日・29日開催/18人参加 ワークショップ付コンサート「カルメン」:12月18日開催/108人参加 星空観察会:1月16日開催/32人参加 【北部公民館】おはなし図書館:4～3月、9回開催/17人、親子サロン:4～3月開放 【南部公民館】親子でクラフト教室:年間4回実施/45人参加、おはなし広場:年間5回実施33人、親子でミニリトミック体験:7月9日開催/10人、親子でリトミック:11月10日、17日開催/46人、南部ほっとオアシス:4～3月開放 【図書館】おひざにだっこのおはなし会	講座・イベント等の実施事業数(件)	6	8	8	8	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とすることはできなかったが、機会提供としての開催回数は目標数値は達成した。コロナ禍において、生涯学習に対するモチベーションが高くなっていることから、参加者アンケート結果からも学習意欲の高さが感じられる。	教育政策課
	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供します。			12							

29	現代的・地域的課題に関する講座等の開催	【町民センター】環境講座、人権講座、歴史体験ツアー、高齢者のための生き方講座、だがしや楽校 【北部公民館】子どもマイコン・プログラム教室、応急手当講習会、寒川歴史散歩、大人の超初心者パソコン教室 【南部公民館】気象防災出前講座、寒川の歴史百科、税金の壁・社会保険の壁、天体観測講座、一之宮を再発見しよう講座、戦争について学ぶ、だがしや楽校	【町民センター】歴史講座：5/23/21人、環境講座：5/30/20人、人権講座：6/12/16人、幸せ力UP講座(配信)：9/26/260人(視聴者数)、赤ちゃんとママの防災講座：10/27/24人、歴史講座：12/11/44人、だがしや楽校：12/4/150人、東日本大震災から学ぶべきこと：2/19/28人 【北部公民館】子どもマイコン・プログラム教室：11/3/5人、寒川歴史散歩：11/27/14人、大人の超初心者パソコン教室：10/6~27/40人、シニアクラス防災講座：11/20~21/16人 【南部公民館】親子で防災気象講座：6/5/15人、寒川の歴史百科：4/24/15人、寒川神社をもっと知ろう講座：5/22/15人、快適シニアライフのためのお片付け：7/12/15人、寒川の遺跡散策：10/26/6人、鎌倉本体の武士・梶原景時：11/28/15人、税金と社会保険：1/30/11人	講座・教室等の開催回数(回)	15	16	18	20	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とすることはできなかったが、機会提供としての開催回数は目標数値は達成した。コロナ禍において、生涯学習に対するモチベーションが高くなっていることから、参加者アンケート結果からも学習意欲の高さを感じられる。	教育政策課
	現代的・地域的課題に関する講座・教室等の学習機会を提供します。			27							

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】学習環境の充実

【施策1】施設の有効活用

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
30	青少年広場の有効活用	新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた青少年広場の利用条件を設けて、グラウンド及び多目的広場等の貸し出しを行う。	・グラウンド ①開放日数：359日 ②年間利用件数：394件 ③年間利用人数：15,084人 ④IT施設予約：無 ・多目的広場 ①開放日数：359日 ②年間利用件数：306件 ③年間利用人数：12,482人 ④IT施設予約：無	年間利用者数(人)	28,000	28,000	28,000	28,000	A	年間を通して多くの利用者があり有意義だった。	学び推進課
	27,566										

31	図書館の有効活用	利用者が快適で安全に利用できる施設の維持管理を行うとともに、図書資料の収集・整理・保存・提供を行います。	利用者の役に立ち、楽しんで来館、滞在してもらえ図書館を目指し、視聴覚を含む資料の収集提供や快適で安全に利用できる施設として様々なサービスを行った。	年間利用者数(人) (総合図書館、北部分室、南部分室の総計)	320,000	320,000	330,000	330,000	B	新型コロナウイルスの影響で、来館者数は伸び悩んでいるが、貸出点数は令和元年度実績まで回復している。利用者の役に立ち、楽しんで来館、滞在してもらえ図書館を目指しており、資料の収集、提供やイベント、学習室、インターネット環境など快適で安全に利用できる施設として様々なサービスを今後も継続していく。	教育政策課
	町民のニーズに即したサービスを展開し、町民のだけれども、いつでも、どこでも身近に利用できる図書館を目指します。		①開館日数:308日 ②利用件数(資料貸出点数):324,839点 ③利用者数:239,407人		239,407						
32	公民館の有効活用	公民館は町民が集い、学習活動・文化活動を行う重要な拠点です。公民館の利用者の高齢化や固定化が進み、利用者が減少傾向にあることから、多様化する町民ニーズに応え、サークル活動支援や、魅力ある公民館講座の実施など、公民館活動の充実を図ります。	【町民センター】 利用団体数:4,003団体 利用者数:40,597人 【町民センター分室】 利用団体数:890団体 利用者数:7,548人 【北部公民館】 利用団体数:1,742団体 利用者数:13,795人 【南部公民館】 利用団体数:2,482団体 利用者数:22,866人	年間利用者数(人) (町民センター、町民センター分室、北部公民館、南部公民館の総計)	140,000	150,000	160,000	170,000	C	新型コロナウイルス感染症の影響で、部屋の定員を1/2とする対応や、多人数を集客するイベントやホール利用が少ないことから、利用人数はコロナ以前と比較し、大幅に落ち込んでいる。利用団体数は回復しつつあるが、サークルの高齢化、固定化により、サークルの会員数が減少している傾向もある。	教育政策課
	地域の生涯学習活動の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等を開催します。				84,806						
33	寒川総合体育館の有効活用	○スポーツ課が所管となりスポーツ事業を充実 ○照明設備改修(メインアリーナ、サブアリーナ) ○指定管理者による自主事業実施(講座・教室など)	①開館日数:347日 ②利用件数:7,389件 ③利用者数:150,167人 ④IT施設予約:有	年間利用者数(人)	143,500	179,000	214,500	250,000	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した利用者数について、計画目標どおり順調に回復してきている。  今後も感染症対策を実施しながら、利用者数の回復が達成できるよう、指定管理者と連携をとり施設運営を行っていく。	スポーツ課
	施設の貸し出しや指定管理者による自主講座等を実施します。				150,167						

34	スポーツ施設の有効活用	○町営プール・リニューアルオープン（7月）と指定管理者制度導入 ○さむかわ庭球場2面削減（9月ごろ） ○川とのふれあい公園サッカー場芝生化準備 ○田端スポーツ公園、町営プールで指定管理者による自主事業実施	①開放日数 田端：359日 倉見、川ふれ：365日 庭球場：309日 町営プール：62日 ②利用件数 田端：1,699件 倉見：881件 川ふれ：1,885件 庭球場：2,093件 町営プール：個人利用のみのため該当なし ③利用者数 田端：51,327人 倉見：7,993人 川ふれ：20,522人 庭球場：11,925人 町営プール：30,005人	年間利用者数(人) (倉見スポーツ公園、田端スポーツ公園、川とのふれあい公園、町営プール、さむかわ庭球場の総計)	88,000 91,000 95,000 98,000	121,772	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染拡大防止対策を施した上での運営が継続となったが、屋外施設であることから、影響については最小限に抑えることができた。  また、寒川町営プールについては令和3年度よりリニューアルオープンし、指定管理者制度を導入したことにより、利用者がよりプールに来たくするような運営を行うことができた。	スポーツ課
	登録団体等への貸し出しや指定管理者による自主事業を実施します。								
35	学校体育施設の有効活用	①開放施設数 体育館：8（小学校5、中学校3） 野外運動場：7（小学校5、中学校2） ※中学校については、夜間照明施設を含む その他：1（南小学校ふれあいホール） ②開放期間：令和3年4月～令和4年3月末 ③総コマ数（予定）：11,162コマ	①開放施設数 体育館：8（小学校5、中学校3） 野外運動場：7（小学校5、中学校2）※中学校については、夜間照明施設を含む その他：1（南小学校ふれあいホール） ②開放期間：令和3年4月～令和4年3月末 ③総コマ数（実績）：6,094コマ 団体利用コマ数：3,989コマ	年間利用可能件数に対する利用率（%）	60.0 60.0 60.0 60.0	65.5%	A	学校体育施設等を学校の教育に支障のない範囲で、地域の団体に開放することで、社会教育その他公共の為に活用することが出来た。 (※なお、令和3年度については、前年に引き続き、感染症対策のため、施設の利用可能コマ数自体が少なくなっている。感染症対策による減は4,481コマ。公用予約による減は587コマ) 評価については、全体の平均利用率が指標を上回る結果となった為、Aとした。	教育施設給食課
	学校体育施設等を地域の団体に開放します。								
36	文書館の有効活用	(1)開館中は、館蔵資料の閲覧やレファレンスに随時対応する。 (2)企画展（①令和3年9月～令和4年3月、②時期未定、計2回）、ミニ展示（令和4年1月～3月、1回）	▼企画展①web展示「相模線100年の記録」(令和3年9月18日からホームページに掲載)、②「梶原景時と一宮館」(令和4年1月22日から開催中) ▼ミニ展示web展示「真年のできごと」(令和4年1月15日からホームページに掲載)	年間利用者数(人)	542 547 552 557	510	A	▼web展示へのアクセス数を分析し、その評価方法について検討する。	総務課
	館蔵資料の閲覧、レファレンスを行うとともに講座や企画展等を開催します。								

37	地域集会所の有効活用	引き続き、指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会（地域集会所を持っている自治会を中心とした運営委員会の集合体）に委託し、施設の有効活用を図っていく。また、寒川町指定管理者選定委員会会議の検討結果に基づき、指定管理の更新を行う。	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会に委託し、施設の有効活用を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため町が施設利用を制限したこともあり、年間利用件数は目標数値を大きく下回る結果となった。	年間利用件数(件)				C	成果：寒川町公共施設再編計画による地域集会所の方向性について、現状や課題の把握に努めてきた。また、指定管理者による利用者への基本的な感染予防対策・周知の実施、町の空気清浄機の設置などによりコロナ対策にも務めた。課題：台風や豪雨による修繕や経年による空調機の交換等が必要な集会所が多く、長期的計画を立てる必要がある。	町民協働課
	地域住民活動での活用を図ります。			3,700	3,700	3,700	3,700			

## 【基本目標 1】 「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

### 【施策の方向 4】 学習環境の充実

#### 【施策 2】 参加しやすくするための環境づくり

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告							担当課	
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値				R3 評価		事業の成果・課題等
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
38	講座開催時の託児の実施	講座内容により託児を実施する。	講座内容に応じて、子育て中の人が参加しやすくなるよう託児を行った。	講座・教室等での実施件数(件)	45	45	50	50	C	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、感染予防対策のため、実施件数が少なかった。今後も、感染状況によっては、影響を受けることも想定されるが、子育て世代が参加しやすくなるような環境づくりを進めていく。	各事業担当課
	2										
39	手話通訳・要約筆記等の配置	講座内容により手話通訳派遣を実施する。	講座内容や参加者の状況に応じて、手話通訳を配置した。	講座・教室等での実施件数(件)	10	10	10	10	C	講座内容や参加者の状況に応じて手話通訳を設置したが、引き続き、全ての人が学習に参加しやすい環境づくりを行うために、手話通訳や要約筆記の設置・派遣を積極的に進めていく必要がある。	各事業担当課
	6										

40	夜間・休日の講座開催	講座内容により勤労者などの参加しやすい時間帯、曜日で実施する。	講座内容に応じて勤労者が参加しやすい平日の夜間や休日に開催した。	平日夜間・休日の講座・教室等の開催回数(回)	255	255	255	255	C	講座内容や対象者に応じて、平日夜間や休日に講座や教室を開催し、参加しやすい環境づくりを進めることができた。	各事業担当課
	平日昼間に講座等の学習活動に参加することが困難な人のために、平日夜間や休日にも講座・教室等を開催します。				153						
41	講座開催時のアンケート調査の実施	開催する講座・教室において、参加者に対しアンケート調査を実施する。	講座・教室参加者にアンケート調査を実施した。	講座・教室等での実施件数(件)	250	250	250	250	C	講座や教室の実施方法によっては、アンケート調査の実施が難しい場合もあるが、できる限り、参加者の満足度や意見を把握し、今後の講座等の企画等に活かすため、アンケート調査の実施を積極的に行う必要がある。	各事業担当課
	参加者の意見を聴取し、満足度や課題などを把握することで、参加しやすい環境づくりを推進するため、講座・教室等開催時にアンケート調査を実施します。				170						
42	インターネットを活用した参加申込	開催する講座・イベント等について、Eメールやホームページからの申し込みが出来るようにする。	講座・教室等の申し込みについて、Eメールやホームページ上からも行えるようにした。	講座・教室等での実施件数(件)	15	20	25	30	A	先着順での受付を行う場合、EメールやHPからの申し込みは適さない場合もあり、それぞれの講座やイベントの実施状況に応じて、幅広い世代が参加しやすくなるようインターネットを活用した参加申込を進めていく必要がある。	各事業担当課
	講座・教室等の開催時にEメールやホームページからの申し込みなど、インターネットを活用した申込受付を実施します。				39						



【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】学習環境の充実

【施策3】関係機関との連携による学習の支援

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
43	県、各自治体、専門機関との連携	・6～3月 藤沢市・茅ヶ崎市と連携し、湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業を実施 ・9～3月 茅ヶ崎市と連携し、生涯学習支援者研修を開催	・「湘南の魅力発見プロジェクト」総括企画 「効果的な広報・紹介動画の作り方講座」(全2回) ①1/20(木) 動画の企画から作成、権利などの注意点を学んだ。 ②2/10(木) 職員が作成したサンプル動画を参考に講師から講評を受け、動画を作成するうえでのポイントについて学んだ。 参加者数：市民18人、市町職員19人 合計37名 ・茅ヶ崎市との連携事業である生涯学習支援者研修は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、中止とした。	連携事業数(件)	2	2	2	2	C	・令和3年度の湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業は地域文化の情報発信力を高める取組として、動画配信のスキルアップを目指したオンライン講習会を企画し、2市1町それぞれがHPや広報紙において参加者の募集を行ったが、残念ながら町民の参加申し込みはなかった。(町職員5名が参加) 講師の分かりやすい解説で動画に関する基礎知識から学ぶことができ、有意義な機会であった。 ・茅ヶ崎市との連携事業は令和3年度をもって終了とし、今後は町として生涯学習支援者のための研修事業等を検討していく。	学び推進課
	1										
44	大学等の教育機関との連携	2月に文教大学の教授等を講師とした「文教大学出張講座」を開催する。	3月12日に「炭水化物は冷まして食べなさい!レジスタントスターチで腸活!!」をテーマとした講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止とした。	連携事業数(件)	1	1	1	1	D	令和3年度の講座は申し込みを開始していたため、可能であれば来年度も同じ内容の講座を開催したいと考えている。毎年、文教大学の教授等による出張講座の開催を待ち望んでいる方のためにも、引き続き、現代的課題等をテーマにした講座を開催し、町民に対して多様な学習機会の提供を行っていきたい。	学び推進課
	0										



【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向1】学習成果を発表する機会の充実

【施策1】学習成果を発表する場の提供

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値						
					下段：実績値						
R3	R4	R5	R6								
45	文化祭の開催	第52回寒川町文化祭 (10/2~11/7)	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、第52回寒川町文化祭を中止とした。	参加者及び見学者数 (人)	7,000	7,000	7,000	7,000	D	2年連続で文化祭が中止となり、高齢化による会員の減少や活動意欲の低下が懸念される。そのため、活動の成果を発表する機会をつくるため、広報さむかわ9月号において文化祭の特集記事を掲載した。過去の文化祭の写真や団体のコメントを掲載して活動の紹介を行うとともに、紙面に掲載しきれなかった写真を町ホームページにも掲載し、広く町民に文化祭や文化連盟への関心を深めてもらえるようPRした。次年度以降は、各団体の活動の成果を発表する場を継続させていくことを前提として、文化祭の開催方法を検討していく。	学び推進課
	文化祭を開催し、文化芸術活動の成果を発表する場を提供します。				0						
46	公民館まつり等の開催	【町民センター】だがしや楽校、さむかわ音楽祭、公民館まつり 【北部公民館】公民館まつり 【南部公民館】だがしや楽校、公民館まつり 新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止もしくは開催形式を変更する可能性あり。 さむかわダンスフェスティバルとさむかわ合唱祭は舞台出演者の飛沫対策などの懸念があるため、令和3年度は中止。	●サークル入会体験フェスタ【3館共通】 実施①：5月1~31日 参加者数：27人 サークル新規加入者数：10人 実施②：11月1日~30日 参加者数：34人 サークル新規加入者数：6人 ●サークル作品展示会【町民センター】実施：3月5日、6日／来館者90人 【北部公民館】実施：3月6日~20日／来館者148人 【南部公民館】実施：3月1日~31日／来館者105人 ●だがしや楽校【町民センター】実施：12月4日／参加者150人	発表する場の提供数 (件)	8	8	8	8	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた公民館まつりは実行委員会で検討し、令和3年度も中止としたが、代替事業としてサークル作品展示会を実施した。長引くウィズコロナ生活の中、令和元年度から3年連続で公民館まつりが中止していることから、活動成果を発表機会を求めているサークルもあり、良い機会となった。だがしや楽校も2年ぶりの開催となり、親子連れなど多くの参加があり、体験活動へのニーズが感じられた。	教育政策課
	公民館まつりやダンスフェスティバル、だがしや楽校等を開催し、町民が学習成果を発表する場を提供します。				10						

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策1】ボランティアの育成・活動支援

NO	事業名	3年度実行計画	3年度事業報告						担当課		
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値					R3 評価	事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
47	<p>福祉ボランティアの育成・活動促進</p> <p>地域で福祉活動に関わる人材やボランティアの育成や活動支援をします。</p>	<p>ボランティアセンター運営事業（ボランティア活動の相談・斡旋・情報提供、ボランティアセンター・活動PR、ボランティア活動室・機材の貸出）、ボランティア交流会、ボランティア講座、福祉有償運送事業の送迎ボランティア向け講習会、オンライン（YouTube）を活用したボランティアグループの継続的な活動紹介、地域活動応援ルームの開設予定等。</p>	<p>・ボランティア活動の相談・斡旋・情報提供→ボランティア登録125名（内新規7名）、ボランティア派遣1451名（電話での連絡調整や活動前後の説明等、活動人数とほぼ同数の対応あり）</p> <p>・ボランティアセンター・活動PR→広報紙、ハガキ、LINE、Twitterを活用。</p> <p>・ボランティア活動室・機材の貸出→ボランティアグループが使用・252件の利用。</p> <p>・ボランティア交流会（登録ボランティアの交流会として、12月に実施し、参加者19名。</p> <p>・ボランティア講座（No.25に同じ）</p> <p>・福祉有償運送事業の送迎ボランティア向け講習会（12月に町健康管理センターで実施、登録ボランティア3名が受講し、その後の送迎ボランティア活動で活動の幅を広げた）</p> <p>・オンライン（YouTube）を活用したボランティアグループの継続的な活動紹介（現在、10種の活動紹介動画を町社協HPで紹介）</p> <p>・地域活動応援ルームの開設（地域活動をしている皆さんのフリースペース、令和3年6月オープン、平日10時～12時、13時～15時、予約不可、ボランティアによるルームの運営の手伝いも開始、コロナの状況で閉所することもあったが、徐々に周知が進んできた）</p>	社会福祉協議会ボランティアセンターの個人登録ボランティアの登録者数（人）	150	150	150	150	B	<p>社会福祉協議会ボランティアセンターの個人登録ボランティアの登録者数（人）を目標指標としているが、ボランティア体験会やボランティア学びあい講座等の参加者も多く、目標値には届かなかったが十分な成果と考える。講座等での学びの後の活動へのつなぎ、コロナ禍で活動休止が続いたボランティア活動におけるボランティアのモチベーション等のケアに引き続き、社協ボランティアセンターに関わりながら、1人ずつ丁寧に新たに地域でのボランティア活動に参加する方を後押ししていく。</p>	福祉課（社会福祉協議会）

48	健康運動ボランティアの地域活動の支援	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動を中止しているため、活動再開に向けて、育成セミナーを実施する予定。	健康運動ボランティアの育成セミナーを下記日程で実施するも、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動は実施できなかった。 【実施日】 6/16 参加者:19人 6/23 参加者:12人 7/7 参加者:14人 7/21 参加者:7人	健康運動ボランティアの地域活動の実施回数(回)	45	45	45	45	D	令和3年度は、健康運動ボランティア活動をしていくための知識と技術の習得を目的とした育成セミナーを実施するも新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動は実施できなかった。 引き続き、健康運動ボランティアの活動支援を行うとともに、感染状況を鑑みつつ、感染対策を図ったうえで、健康づくり体操の日を再開するほか、自治会や高齢者施設より体操指導等の依頼があった際には、地域活動を実施していく。	健康づくり課
	地域での健康づくり推進のため、健康運動ボランティアの育成や活動支援をします。				0						
49	図書館ボランティアの育成・活動促進	新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、土曜日開催している「おはなし会」をボランティアの協力を得ながら開催します。また、配架・書架整理についてボランティアの協力を得て、継続的に書架整理を行い、利用者が求める資料をすぐに探せる環境を整えます。	おはなしボランティア 新型コロナ感染症拡大のため、令和2年度から活動を中止していたが、1月から活動再開をしたところ、まん延防止重点措置期間となったため、おはなし会の開催中止。 全体会:2回実施 おはなし会参加:1回  書架整理ボランティア 新型コロナ感染症拡大のため、ボランティアによる書架整理活動は令和3年度は中止。 全体会:1回実施	ボランティアの登録者数(人)	35	35	40	40	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度はすべてのボランティア活動は中止したが、令和3年度はボランティア登録更新手続きや、来年度に向けた活動、ボランティア同士の交流を図るためおはなしボランティア、書架整理ボランティアで交流会を実施した。おはなしボランティアは1月に活動再開となったが、まん延防止重点措置期間に入り、やむなく活動中止となった。ボランティア活動について、再開を不安に感じる方と、早く再開したいという方の両方の意見があり、調整を図りながら、令和4年度の活動再開を目指す。	教育政策課
	町民と協働する開かれた図書館を目指し、図書ボランティアの育成や活動支援をします。				26						
50	文書館ボランティアの育成・活動促進	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、当該事業を実施する目途がたっていない。	新型コロナウイルス感染症対策のため実施していない。	ボランティアの登録者数(人)	6	6	6	6	D	▼新型コロナウイルス感染症対策を考慮した事業内容(作業の内容・実施方法)を検討する。	総務課
	文書館での新聞、写真などの資料整理や展示準備などのボランティアの育成と活動支援をします。				0						

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策2】人材育成・活用の促進

NO	事業名	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
	事業内容		3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値						
					R3	R4	R5	R6			
51	生涯学習人材登録制度の拡充	生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」の登録メニュー紹介の作成や制度のPRを目的とした登録講師の自主企画講座の支援を行う。  地域で知識、技能、指導補助等の意欲のある方を登録し、講師紹介や自主企画講座実施等の支援をします。	「ステップ・アップ」の登録者に対して内容や更新等の調査を行い、登録メニューを紹介したチラシを作成。HPにおいて公開し、各施設に配架をした。登録講師による自主企画講座は新型コロナウイルス感染症の収束状況が見込めないため、中止とした。	人材登録制度登録者数(人)	35	37	39	40	B	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の収束が見込めず、自主企画講座は中止としたが、引き続き、人材登録制度の登録講師による自主企画講座を支援していくことで、制度の周知を図り、新規登録者と利用者の増加につなげていきたい。	学び推進課
	31										
52	生涯学習支援者研修の開催	9～3月頃に、茅ヶ崎市と合同で、「生涯学習支援者研修」を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	研修の開催回数(回)	1	1	1	1	D	今まで実施してきた研修を通して、両市町の生涯学習指導者同士の繋がりや情報交換を図ることができ、連携体制を築くことができた。今後は、市町の異なる課題や現状を踏まえ連携事業は実施せず、地域の実情に応じて生涯学習の充実を図っていく。	学び推進課
	0										

【基本目標3】「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向1】まちづくりにつながる学習機会の充実

【施策1】地域やまちを知る学習機会の提供

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告						R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値						
					R3	R4	R5	R6			
53	文書館保存資料活用事業	古文書講座（令和3年9月～令和4年1月、各月1回計5回）、企画展（①令和3年9月～令和4年3月、②時期未定、計2回）、ミニ展示（1月～3月、1回） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、目標指標の数値を下回る事業の開催回数（予定）とした。	▼古文書講座（令和3年10月から12月まで各月1回、合計3回開催） ▼企画展①web展示「相模線100年の記録」（令和3年9月18日からホームページに掲載※企画展関連講座は中止）、②「梶原景時と一宮館」（令和4年1月22日から開催中） ▼ミニ展示web展示「寅年のできごと」（令和4年1月15日からホームページに掲載）	講座・展示等の開催回数（回）	12	12	12	12	C	▼新型コロナウイルス感染症対策のため当初の展示計画を対面式からweb展示形式に変更して実施した。Web展示については、アクセス数等を分析しながら、今後の展示の開催方法を検討する。	総務課
	6										
54	文化財学習センター事業	考古学講座（茅ヶ崎市寒川町広域連携事業）（5月） 布ぞうり作り教室（6月） 文化財学習センターワークショップ（10月） 遺跡発掘発表講演会（11月） 文化財学習センター収蔵品出張展示（観光協会通年） 文化財学習センター収蔵品出張展示（町民センター）	・考古学講座（茅ヶ崎市寒川町広域連携事業）（7/18、7/25 2階 13人） ・布ぞうり作り教室（6/20 1階 10人） ・ワークショップ（中止） ・遺跡発掘発表講演会（11/20 1回 28人） ・文化財学習センター収蔵品出張展示（観光協会通年）1回 ・文化財学習センター収蔵品出張展示（町民センター）（2/5～3/31 1回） ・世界遺産講座（南部公民館共催）（6/25 1回 14人） ・町内遺跡めぐり（南部公民館共催）（10/26 1回 6人）	講座・展示等の開催回数（回）	8	8	8	8	A	新型コロナウイルスの影響で大人数での講座等は実施できなかったが、新たに南部公民館と共催で講座を実施し、目標値に達した。これ以外にも教育政策課において文化財の普及啓発事業を実施したり、各公民館と連携を図り普及啓発事業の実施を行った。 今後は「文化財学習センター事業」の枠にとらわれず、関連施設、団体と協力のもと普及啓発事業を実施していきたい。	教育政策課
	8										

55	さむかわ出前講座の実施	町民で構成される団体やグループの依頼に応じて、町職員を講師として派遣する。	「さむかわ出前講座」のメニューを発行し、各課の協力により、依頼のあった5団体に対して6講座を実施した。(のべ131人参加) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、依頼を受けその後中止となった講座が2講座あった。	派遣回数(回)	10	10	10	10	C	団体からの申請により、希望した講座の講師派遣を行い、学習機会の提供を行うことができた。受講後の報告書における感想も概ね講評であった。今後は派遣回数を目標数値に近づけていくために、制度の周知と学習ニーズに対応できる各課の体制づくりが課題である。	学び推進課
	町民と行政が共に学びながらまちづくりを推進するために、団体等の依頼に応じ、学習を目的とした集会等に町職員を講師として派遣します。	6									

【基本目標3】 「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向2】 まちづくりにつながる活動の支援

【施策1】 活動団体への支援

NO	事業名 事業内容	3年度実行計画	3年度事業報告							R3 評価	事業の成果・課題等	担当課
			3年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値							
					R3	R4	R5	R6				
56	地域子育て環境づくり支援事業	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力(補助)を行います。	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う2団体に対し補助を行った。	実施団体数(団体)	2	2	2	2	A	「不登校サポートネットワーク事業」、「小谷こどもカフェ」の2事業について支援決定をした。町内に子育て支援をする団体が少ないことから、地域社会全体で子育てを支援していくための意識啓発が必要なため、更なる制度周知を行っていくことにより、支援数の増加を目指していく。	子育て支援課	
	2											
57	文化団体の育成・活動促進	町文化連盟への補助金支出、文化団体の広報活動への協力等を行う。	町文化連盟へ補助金を支出し、文化連盟や加盟団体の活動を支援した。また、活動場所の提供や広報の支援を行った。	文化連盟の会員数(人)	1,100	1,100	1,100	1,100	B	文化連盟に加盟する団体の活動を支援することにより、町内の文化活動の推進、地域文化の振興を図ったが、2年連続で町文化祭が中止となったことによる意欲低下や高齢化に伴う人材不足などの原因により、加盟団体の脱退が生じ、文化連盟の会員数は年々減少している。幅広い年齢層の参加や地域文化を継承していくことができるよう、引き続き活動の支援を行う必要がある。	学び推進課	
	891											



58	国際交流団体の育成・活動促進	さむかわ国際交流協会へ交付金を支出し、協会の国際交流・国際理解に関する活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症拡大により、さむかわ国際交流協会が日本語教室以外の事業計画を立てることができず、同協会より交付金の申請は辞退された。日本語教室は4月に再開され、少人数に絞って実施された。(春コース・秋コースのべ学習者106人)	国際交流団体の会員数(人)	45	45	45	45	C	新型コロナウイルス感染症の収束が見込めず、日本語教室以外の事業を実施することができなかった。日本語教室は4月に再開されたが、託児サービスは中止のため、小さい子どもがいる母親の参加が減少した。また、協会の会員数は伸び悩んでおり、日本語教室講師の高齢化も進んでいるため、新たに日本語学習支援者を確保していくことが課題である。令和4年度は、さむかわ国際交流協会が日本語教育に関する研修会を開催する。引き続き、協会の活動を支援していくことで、町民に対して国際理解や国際交流の機会を提供するとともに、外国籍住民の支援にも繋げていきたい。	学び推進課
	国際化の推進を図るため、国際交流を行う団体の育成や活動支援をします。				27						
59	スポーツ団体の育成・活動促進	○体育協会・レクリエーション協会への事業費補助 ○イベント等開催に係る団体との連携 ○スポーツ施設の優先予約	①寒川体育協会とレクリエーション協会の令和2年度実績報告書を確認の上、各協会への事業補助を実施。 ・体育協会:990,000円 ・レクリエーション協会:125,000円 ②さむかわスポーツデイ、観桜駅伝等のイベント当開催については、各構成団体と調整していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止とした。 ③令和4年1月～2月にかけて各団体と調整を行い、各団体のスポーツ施設の優先予約を行った。	スポーツ団体の会員数(人)	5,500	5,500	5,500	5,500	A	各団体を通じて高齢化が進み、運営する担い手が限られてきており、団体の継続が困難な状況になりつつあるケースが見受けられる。  また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動を休止する団体も出てきている。	スポーツ課
	スポーツ活動の推進を図るため、団体の育成や活動支援をします。				5,268						
60	環境団体の育成・活動促進	目久尻川クリーン作戦(4月、6月、9月、10月、11月、12月、1月、2月の第3土曜日) 川の生き物調査隊(7月31日) 野鳥観察会(1月22日)	第3次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、環境に関する活動を実施している「さむかわエコネット」に対して交付金を交付した。また、諸活動に対して人的及び物的支援を行い、協働による連携により環境活動の活発化を図った。 ※さむかわエコネットの参加人数 ①クリーン作戦(ごみ拾い)6回実施 延べ169人参加	さむかわエコネット主催事業及び町との共催事業の参加者数(人)	250	260	270	280	C	環境を守る活動について、会員が自ら考え自ら行動するなど自主的な活動が増えている。登録者数については、目標数値に満たないため、活動のPR方法を工夫するなど、登録者の募集方法について検討を進めていく。	環境課
	環境問題の認識を深めるため、環境団体の育成や活動支援をします。				169						



61	自主防災組織の育成・活動促進	防災対策の普及啓発および、地域の防災力向上には、各自主防災組織における活動が重要である。引き続き、各組織における取り組みの支援を継続していく。 ・自主防災組織における、訓練・研修会の実施 ・防災リーダー研修会開催	各自主防災組織において訓練を実施した。 自主防災組織訓練を実施した自治会(14自治会) 参加者計: 863人  自主防災リーダー研修会については、荒天の影響により中止。	訓練・研修会への参加者数(人)	2,750	2,750	2,750	2,750	C	今年度については、コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を自粛する自治会や、規模を縮小して実施する自治会が多かった。また、例年実施している自主防災リーダー研修会も荒天のため中止になり、参加者数は目標達成には至らなかった。 引き続き未実施自治会へ、コロナ禍でも実施できる取組について実施を促すようにする。	町民安全課
	防災対策の普及啓発を図るため、自治会に組織されている自主防災組織の活動を支援します。			863							
62	緑化推進団体の育成・活動促進	活動団体及び公園等の増に向け、町ホームページに公園愛護会の取り組みや実際の活動内容等を掲載し、周知を図る。	町広報や町ホームページで愛護会の募集や団体の紹介を行った  広報(募集) 1回 町HP(募集及び紹介) 各1ページ	協働による管理体制を整えた公園及び緑地・緑道の数(箇所)公園愛護活動を行う団体の登録数(団体)	9	12	15	18	A	愛護会の活動により、公園がきれいに保たれ苦情が減った。各愛護会において発展的な公園の利活用が行われた(季節イベントごとの手作りオブジェの展示。公園植物の案内掲示等)	都市計画課
	町民に親しまれる身近な緑の空間である公園や緑地・緑道の運用やあり方について、町民との協働で維持管理を行う体制を整えることで、町民主体で整備や維持管理を実施していくことができる体制づくりを行います。			9							
63	ボランティア活動促進事業	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、町ホームページや広報で活動内容等を紹介する。 また、問い合わせに応じて登録団体等の紹介を行い、町民の方とボランティア活動団体を繋げる役割を果たすと共に、団体同士の連携の推進に努める。 他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において情報交換を行う。	町内で活躍するボランティア団体等の登録を行い、町ホームページや広報、ツイッター、フェイスブックで活動内容等を紹介した。 また、問い合わせに応じて登録団体等の紹介を行い、町民の方とボランティア活動団体を繋げる役割を果たすと共に、団体同士の連携の推進に努めた。 他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において、情報交換会を2回実施。	「寒川町町民ボランティア団体等登録制度」ホームページ訪問数(件)	300	300	300	300	A	成果: 町ホームページや広報、ツイッター、フェイスブックにおいて活動紹介をすることにより、団体等の活動の活性化に繋がった。また、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される、湘南市民活動広域連携協議会での情報交換会は継続して行われた。 課題: 近隣自治体と比較して、NPOやボランティア団体の数が少ないこと。	町民協働課
	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、活動促進及び情報の共有化、町民のまちづくりへの参加を促進します。			280							

64	公民館サークルの育成・活動促進	サークル入会体験フェスタの開催（5月、10月） 公民館まつり（2月） 新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催中止もしくは開催形式を変更する可能性あり。	●サークル入会体験フェスタ【3館共通】 実施：5月1～31日 参加者数：27人 サークル新規加入者数：10人 実施：11月1日～30日 参加者数：34人 サークル新規加入者数：6人 ●サークル作品展示会【町民センター】実施：3月5日、6日／来館者90人 【北部公民館】実施：3月6日～20日／来館者148人 【南部公民館】実施：3月1日～31日／来館者105人	公民館利用者の会登録団体数(団体)	180	185	190	195	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた公民館まつりは実行委員会で検討し、令和3年度も中止としたが、代替事業としてサークル作品展示会を実施した。長引くウィズコロナ生活の中、令和元年度から3年連続で公民館まつりが中止していることから、活動成果を発表機会を求めているサークルもあり、良い機会となった。公民館利用者の会登録団体数については、数字上は現状維持であるが、会員が高齢者で人数が少ない団体の解散による減と、公民館講座を契機とした新サークル結成による増が同じようなペースとなっている。	教育政策課
	公民館利用者層の拡大につながるよう公民館サークルの育成や活動支援をします。				177						
65	協働事業提案制度推進事業	令和3年度実施事業について、事業を実施し（4月～3月）、年度途中に中間報告会を開催する（11月）。また、進捗状況の確認を随時行う。	令和3年度実施事業について、令和3年4月から令和4年3月にかけて事業を実施した。年度途中の11月に中間報告会を開催し、事業の進捗状況の確認と団体へ助言等を行った。	協働事業提案制度相談回数(回)	1	1	1	1	A	成果：令和4年度実施事業を3事業採択した。令和3年度実施事業の中間報告会により、実施事業の進捗状況の確認と団体への助言を行った。 課題：協働事業を企画・実施する対象の団体が不足していることや、協働を支える住民活動の活性化が課題である。	町民協働課
	地域の身近な公共的課題などの解決に向けて提案された町民と町との協働事業に対して事業協力（補助）を行います。	令和4年度実施事業について、事前相談募集（4月）、事前調整（5月）、正式提案（6月）、協働事業選考委員会による審査（7月）を経て事業を採択。その結果に基づき、予算要求を行う。	令和4年度実施事業について、事前相談募集（4月）、事前調整（5月）、正式提案（6月）、協働事業選考委員会による審査（11月）を経て、3事業を採択した。その結果に基づいて予算要求を行った。		4						

「第2次寒川 学びプラン」令和3年度実績報告  
【事業担当課共通の実績報告】

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】 学習環境の充実

【施策2】 参加しやすくするための環境づくり

担当課	講座・教室等の開催有無	開催数合計	38		39				40		41	42	事業の成果・課題等
			託児		手話通訳		要約筆記		夜間	休日	アンケート	インターネット	
			実績	実施	実績	実施	実績	実施					
1 広報戦略課	無												
2 総務課	有	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	新型コロナウイルス感染症対策のため当初の展示計画を対面式からweb展示形式に変更して実施した。Web展示については、アクセス数等を分析しながら、今後の展示の開催方法を検討する。
3 町民協働課	無												
4 町民安全課	有	21	0	0	0	0	0	0	0	15	1	1	(災害対策)感染症拡大予防のため、実施回数は減少したが、各団体で出来る範囲での取り組みを行った。また動画配信やe-kanagawaを使ったアンケートの実施などを行った。 (交通安全)交通安全教室は感染症拡大予防のため中止とし、リーフレットの配布による啓発を実施。
5 町民窓口課	有	4	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	(消費生活)高齢者向けのスマートフォン教室により、自らの理解を深め、今後の消費生活におけるトラブル予防を図ることができた。 (男女共同参画)YouTubeによるオンライン配信を実施した。 (平和)平和思想の普及、啓発を図ることができた。幅広い世代に対応できるパネルを選定する必要がある。
6 子育て支援課	有	41	2	2	0	0	0	0	0	5	35	3	コロナ禍の人数制限により、オンラインイベントでの事業周知が主であったが、自宅それぞれのペースに合わせたイベント参加が可能となるなど、ひろば開催だけでは得られないものもあった。しかしオンラインイベントへの参加に抵抗感もある利用者も多く、今後はオンライン、ひろばのどちらでも対応可能にするともに、オンライン参加を気軽にできるような取り組みも必要。

7	学び推進課	有	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業の「効果的な広報・紹介動画のつくり講座」はZoomにより開催したが、一般からの申し込みはなかった。文教大学出張講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。コロナ禍においてはオンライン開催の方が確実に開催できる可能性は高いが、参加者の年齢層や講座の特質を考慮しながら、開催方法を検討していく必要がある。
8	スポーツ課	有	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言などで中止を余儀なくされたこともあり、予定どおり事業を実施することができなかった。今後はインターネットを活用したオンライン環境での教室などの開催方法や予約等について検討する必要がある。
9	福祉課 (社会福祉協議会)	無	41	0	0	6	6	0	0	0	1	1	10	手話通訳者の派遣を受けて子どもたちの学びを効果的に実施した(聞こえない人の生活を知る)。Zoomを使用しているオンライン開催、オンラインとリアルハイブリッド開催、インターネットでの動画配信等、コロナ禍での学びを止めないよう努めた。(成年後見講座、ボランティア体験会、ボランティア学びあい講座等)
10	高齢介護課	有	58	0	0	0	0	0	0	0	8	22	13	(介護予防)新型コロナウイルス感染対策を行い、R2年度中止になっていた事業を再開させた。募集人数を超える応募が毎回あり、この事業の再開が望まれていたことがわかった。曜日の都合などで参加できない町民もいるため、開催曜日の変更を検討する。 (認知症)R2年度開催できなかった町民向け認知症要請サポーター講座、ステップアップ講座を再開させた。 どちらの事業も緊急事態宣言などで中止を余儀なくされたこともあり、オンラインでの開催を検討していく。
11	健康づくり課	有	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった講座等が多かった。 次年度以降、感染状況を鑑みつつ、感染対策を図ったうえで、実施していく。
12	産業振興課	有	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	コロナ禍ではあったが、感染症対策を施したうえで面接会やセミナーを実施できた。 今後も状況に応じた対応方法での実施等を検討していく必要がある。
13	環境課	有	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	環境団体と協力して学習講座等を実施。身近な環境への興味関心を高めるとともに、環境課題への意識向上につながった。
14	都市計画課	無												

15 教育政策課	有	6	0	0	0	0	0	0	0	5	6	6	新型コロナウイルスの影響で実施できない事業もあったが、新たに公民館と連携し事業を実施することができた。
16 学校教育課	無												
17 町民センター・公民館	有	159	0	0	0	0	0	0	1	74	86	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全対策を取りながら、事業実施に努めた。アンケートでの参加者の満足度は総じて高い。
18 総合図書館	有	43	0	0	0	0	0	0	2	23	13	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全対策を取りながら、事業実施に努めた。アンケートでの参加者の満足度は総じて高い。
19 教育施設給食課	無												
合計		393	2	2	6	6	0	0	7	146	170	39	

## 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度事業報告の評価

### [ 寒川町生涯学習推進会議評価 ]

○新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりの活動は難しい状況だったが、それぞれの分野で工夫されていた。

○対面での活動は、人数制限をしながら継続し、対面が難しい活動は掲示内容でのアピールや展示発表の内容充実などの工夫を行い、大変良かった。

○収束の見通しが立たないコロナ禍の中で、いろいろな工夫によって活動内容が継続していくことを望む。

○ひとつの事業が他の事業と関わることで、別の事業にも加わりやすい仕組みができることを望む。

○コロナ禍を乗り越えた時点で、評価がどのように変化するのかが注目したい。

○高齢化による各団体の会員減少や活動意欲の低下、人材不足が示され、サークルの高齢化や固定化が課題である。

○コロナ禍で活動休止が続くボランティアのモチベーション・ケアやボランティア同士の交流を図る機会の充実に努めていただきたい。

○だれでも学べる生涯学習として、目標指標に届かなくても、託児や手話通訳・要約筆記の配置に努めていただきたい。

○講座開催時のアンケート調査は、事業に対するフィードバックの重要性から、100%の実施に努めていただきたい。

○インターネットを活用した参加申込について、環境整備や運用方法の検討を進めていただきたい。

○現在、「学ぶ」に比重が置かれた取り組みを「活かす」から「つながる」事業へ移行できるよう、講座に参加した人のその後の活動支援を行っていただきたい。